

日本組織培養学会

昭和60年2月20日発行

会員通信 第55号

発行責任者

沖垣 達(重井研), 常盤孝義(岡山大・医)
三井洋司(微工研), 大野忠夫(放医研)
間中研一(独協医大), 喜多野征夫(阪大・医),
大島 浩(大阪歯大)
岡山市鹿田町2-5-1 (〒700)
岡山大・医・癌研病理
電話 0862-23-7151

§ 日本組織培養学会第58回大会のご案内

第58回大会を下記により開催することになりましたのでご案内致します。

1. 会場：ホテル「おかだ」

〒250-03 神奈川県箱根町湯本 TEL. (0460) 7161

2. 会期：昭和60年5月15日(水)～16日(木)

3. 参加, 宿泊および一般講演申し込み：

昭和60年3月20日(火) までに参加, 宿泊(7. 宿泊の項参照) および一般講演希望者は, 同封の申し込み票(葉書)にご記入の上, ご返送下さい。

講演の申し込みをされた方々には, 「組織培養研究」(抄録)掲載のための原稿用紙をお送り致します。(締切3月末日)

4. スケジュール：

5月15日	午前	8:30～12:45	箱根観光
	午後	1:00～4:50	一般講演
			講演25分, 質疑15分(又は講演15分, 質疑5分)
		4:50～5:30	総会
		6:30～9:30	ワークショップ(10項I～VI参照)
		9:30～	懇親会
5月16日	午前	9:00～11:00	一般講演
		11:15～12:15	特別講演(司会 高木良三郎, 沖垣 達) 養和田 潤博士 (林原生物化学研究所, 細胞センター所長)
	午後	1:15～3:15	一般講演

5. 大会参加費：会員 3,000円, 非会員 4,000円

6. 懇親会参加費：2,000円(懇親会は, ワークショップ終了時各会場で行います。)

7. 宿泊：宿舎は, 会場ホテル「おかだ」をご利用下さい。(宿泊費は, 2食付12,000円)

4～6人の合部屋になっておりますので, 出来れば, グループとしてお申し込み下さい。その他の宿泊のわりふりは, 世話人におまかせ願います。

尚, 申し込み時, 5,000円の予約金をご送金願います(振替用紙同封)。

8. 交通：○小田原駅から箱根湯本まで, タクシー, バス, 登山鉄道15分。

○新宿駅(東京)から箱根湯本まで, 小田急ロマンスカー90分

○箱根湯本より会場まで, タクシー, 共同マイクロバス5分

9. 講演申し込み先および予約金送付先：

〒700 岡山市鹿田町2-5-1
岡山大学・医学部・癌研病理部門内
日本組織培養学会・第58回大会事務局
(世話人 佐藤二郎)

10. ワークショップ プログラム

I 放射線生物学領域における細胞培養フロンティア

- オーガナイザー 寺島東洋三(放医研)
鈴木 文雄(金沢大・薬)
1. 系図法による細胞の放射線損傷発現過程の分析について
佐々木 弘(九大・医・放射線基礎)
 2. ヒト甲状腺上皮細胞の培養と放射線生物学への応用
中村 典, Richard C. Miller(放影研)
 3. 多細胞球状体(スフェロイド)による固形腫瘍の放射線感受性
佐々木武仁(東北大・医・放射線基礎)
 4. 放射線による *in vitro* トランスフォーメーション
渡辺 正己(金沢大・薬・放薬化)
 5. 哺乳類細胞の修復遺伝子の染色体マッピング
堀 雅明(放医研・遺伝)

II 哺乳動物細胞の突然変異と形質転換

- オーガナイザー 黒田 行昭(遺伝研)
西 義介(専売公社)
1. 試験管発がんにおける細胞内コミュニケーションの役割
榎本 平(広島大・歯・口腔生理)
 2. DNA トランスフェクションによる哺乳類細胞の形質転換
平川 忠(老人研)
 3. 発がんプロモーターによるCキナーゼの活性化とタンパクの磷酸化
千田 和広(東大・医科研)
 4. FM3A細胞を用いる弱変異原検出に有効な突然変異検出法
森田 初恵(横浜市大・医・組織培養)
 5. 変異原研究における培養細胞の利用
西 義介(専売公社・中央研)

Ⅲ 培養における温度環境と細胞特性 —主にヒト細胞を中心に—

オーガナイザー 奥村 秀夫(予 研)
蔵本 博行(北 里 大)

1. 培養細胞の温度環境の意義 —多温度培養法の開発—

奥村 秀夫(国立予研)

2. 温度感受性からみた細胞の形態と増殖能

°山田堅一郎, 奥村秀夫(国立予研), 田村昭蔵(慶応大・産婦人科)

3. 女性性器細胞の温度感受性

—細胞の増殖・形態・腫瘍マーカー—

°宇田川康博, 野沢志朗(慶応大・産婦人科)

4. 肝・胆道系癌細胞の温度感受性

°本間 定, 永森静志, 亀田治男(慈恵医大・内科)

5. ホルモン分泌系細胞の温度感受性

5-1 膵島ホルモンの分泌機能

°桶田俊光, 山口景輔, 横川 太, 高木良三郎(大分医大・内科)

5-2 絨毛癌細胞のホルモン分泌能

°下田隆夫, 浜野恵美子, 森沢孝行, 蔵本博行(北里大・産婦人科)

追加討議

1. 食道癌細胞株の温度感受性

°齊藤光和, 真保 俊(富山医薬大・外科)

2. ホルモン分泌系細胞の温度感受性

—副腎皮質腫瘍細胞のステロイド分泌機能—

°東 淑子, 佐藤二郎(岡山大・癌研)

Ⅳ 肝実質細胞培養の最前線

オーガナイザー 大野 忠夫(放 医 研)
花岡 文雄(東 大 ・ 薬)

1. 肝実質細胞の増殖制御と分化機能発現

中村 敏一(徳島大・酵素研)

2. 初代培養肝実質細胞の長期機能維持

宮崎 正博(岡山大・癌研)

3. 肝実質細胞の無血清培養法

古閑 睦好(独協医大・第一生理)

4. 初代培養肝実質細胞の応用薬理的研究

若杉潤一郎, 富川宗博(第一製薬・中研)

追加討議

初代培養ラット肝細胞の *Peroxisome* の変化

—特に異常封入体形成について—

古川一典, 望月洋一(札幌医大・癌研)

V 細胞老化は制御できるか

オーガナイザー

三井 洋司(微工研)

藤原 美定(神戸大・医)

1. 序 —遺伝子の老化から老化制御因子まで

三井 洋司(微工研)

2. 遺伝子, その老化, 分化による変化

山岸 秀夫(京大・理)

3. 老化細胞におけるDNA合成の再開

井出 利憲(広島大・医)

4. 老化細胞表面膜にDNA合成制御因子

松岡 耕二(老人研・薬)

5. Growth Factorsによる細胞寿命の制御

加治 和彦(老人研・RI)

6. 血管細胞の老化

山本 清高(老人研・生物)

7. 結語, 今後のCytogerontology

藤原 美定(神戸大・医)

VI コラーゲンゲル培養

オーガナイザー

榎並 淳平(独協医大)

常盤 孝義(岡山大)

1. マウス乳腺上皮細胞, 乳癌細胞のコラーゲンゲル培養

榎並 淳平(独協医大・生理)

2. 再構成培養皮膚の作製とその性質について

吉里 勝利(北里大・医・形成外科)

3. 正常マウス臍および子宮上皮細胞のコラーゲンゲルによる無血清培養

井口 泰泉(横浜市立大・生物)

4. 軟骨細胞のコラーゲンゲル内培養
安井 夏生(阪大・医・整形外科)
5. 骨原性細胞株MC3T3-E1のコラーゲンゲル内における分化
須藤 博子(東北歯大・解剖2)
小玉 博明(東北歯大・生理)
山本 茂久(東北歯大・解剖2)
6. ブタ皮膚を支持体とする各種上皮細胞の培養とその分化
吉田 豊(札幌医大・第2病理)
7. コラーゲン基質におけるヒト胎児肝細胞の分化の試み
常盤 孝義(岡山大・癌研)

§ フィルム委員会からの報告

「細胞 THE LIVING CELL」のビデオほぼ完成

かねてより当フィルム委員会で企画し製作していた「細胞 THE LIVING CELL」のビデオが、ほぼ完成しました。半完成品のフィルムを、昨 year 高知での学会の席上試写いたしました。それをビデオにした当委員会での第一作です。

対象を大学教養課程、高校理科学学生とし、その教材になるように、われわれの研究技術である組織培養法と、材料である細胞を紹介しています。当初の目標はまずはフィルム作製だったのですが、原板にゴミが多かったり、暗い画面があったりするので、その完成は夏頃になる予定です。その一方で、フィルムより手がけ易く、また近年各機関に行き渡っている視聴覚教育用に、ビデオを完成させました。説明を吹き込むと費用などの点で大変なので、別に説明書を作成中です。あらかじめこれを読んでから見ていただくことになります。

編集は故勝田先生が長年にわたり撮られたフィルムを中心に、アメリカのハンチントン医学研究所の好意により使用を許可されたフィルム、さらに本企画の目的に沿って撮り足したものを利用して行いました。

内容はつぎのとおりです。

第1章	細胞の種類	第3章	細胞の活動	第4章	細胞の微細構造
1-1	上皮細胞	3-1	正常細胞分裂	4-1	核
1-2	線維芽細胞	3-2	異常分裂	4-2	ゴルジ体
1-3	マクロファージ	3-3	飲作用	4-3	中心体と中心粒
1-4	リンパ球	3-4	食作用	4-4	ミトコンドリア
1-5	腎臓上皮細胞	3-5	接触阻害	4-5	小胞体
1-6	神経系の細胞	3-6	麻疹ウイルスによる		
1-7	運動筋細胞		細胞融合		
1-8	心筋細胞	3-7	顆粒移送		
第2章	細胞培養法				

フィルム委員会としては広く一般に利用され、活用されることを望んでいます。会員諸氏の研究室や、また大学、研究所で入手御希望の節は、ほぼ実費の¥ 15,000 で頒布いたします。梅田迄申し込んで下さい。

一方、会員がおられない大学や高校などでも、需要があれば応じたいと考えています。その方法などにつき会員諸氏の御意見などお聞かせ下さい。また御協力をお願いします。

なお、本ビデオ作製にあたり、委員のうちとくに独協医科大学の丹羽、高岡委員の努力に負うところが大きかったです。付記して感謝します。
(梅田 誠)

申込先：〒 232 横浜市南区中林町 2 - 102
横浜市立大学・医・組織培養室

§ 関連学会報告

☆ “日本口腔組織培養研究会開催さる”

第 21 回研究会は吉岡済教授（兵庫医科大学）のお世話で 1984 年 11 月 16, 17 日に兵庫医科大学において開かれ、特別講演、新技術紹介を含む 20 演題の発表があり、活発な討議がなされた。当日は日本全土から同様の研究者が 62 名参加した。演題は特別講演として『細胞培養と遺伝学』のタイトルで古山順一教授（兵庫医科大学）が約 30 年間にわたって研究されてきたその軌跡を講演されたのをはじめとして、新技術紹介では『コンピューターによる細胞数自動算定法とそのデータ処理』という最も新しい話題を川原春幸教授（大阪歯科大学）が紹介し、出席者の興味をひいた。また、一般講演では、培養細胞の樹立、同定などに関する研究、活性および変異に関する研究そして生体材料の毒性についての演題などが発表され、討議された。なお、本研究会では創立以来英文研究会誌（Tissuc Culture in Dentistry）を発行してきているが、口腔領域での組織培養研究に興味を持たれる方は、今回のも含めて事務局までお問い合わせ下さい。

また、今回の総会において本研究会の新会長には川原春幸教授（大阪歯科大学）が選出された。1985 年度の研究会は佐藤光信教授（徳島大学）、1986 年度は佐藤温重教授（東京医科歯科大学）のお世話で開催されることになった。詳細については逐次会員通信にて報告する予定。

日本口腔組織培養研究会事務局

〒 540 大阪市東区京橋 1 - 47

大阪歯科大学 歯科理工学教室

TEL. 06-943-6521（内線 271）

担当 大 島 浩

☆ 米国組織培養学会

と き： June 2 - 6 , 1985

ところ： Fairmont Hotel, New Orleans, Louisiana, USA

Chairman : Mina J. Bissel

シンポジウム : Oncogenes and growth factors regulation of gene expression in animal and plant cells.

Convener : George Todaro

☆ 欧州組織培養学会

と き： May 20 - 22 , 1985

ところ： Ullensvang Hotel, Bergen, Norway

Chairman : J. Lillehaug

§ 会員住所の登録について

本学会員の住所等の登録にあたり、従来のカタカナコンピューターを漢字化し、あて名のみならず会員名簿の作成にも利用することにいたします。

そのために全会員について所属と自宅の両方を再登録いたします。

つきましては恐縮ですが同封葉書にて4月末日までにご連絡下さい。とくに連絡先が自宅の方はご所属をお知らせ下さい。

なお58回大会に申し込まれる方は関係葉書の欄に記入いただければ結構です。

§ 編集後記

第55号をおとどけします。発行日がおくれ、第58回大会の申込み締切までの日数が余りないので申し訳けなく思っています。今号には、第58回大会参加、講演および宿泊申し込み用葉書と宿泊予約金用振替用紙を同封いたしました。申し込み方法が従来の形式とは少々異なりますのでご注意ください。(T. T.)

§ 住所等の変更

氏 名	新 所 属	〒	同 住 所 ・ 電 話 番 号
○室 田 誠 逸	東京医科歯科大学歯学部 顎口腔機能研究部門	113	文京区湯島1-5-45 (03)813-6111 内線 5285

〔賛助会員〕

岩城硝子株式会社

新電話番号 (03)214-6221
(販売第2部)

丸善石油バイオケミカル㈱

105 港区芝浦1-1-1 東芝ビル

(03)798-3882
(担当 横溝 敬)